

「世界に**たったひとつ**の奈良」の実現に向けて
サラリーマン横井の活動をお伝えします

よこいレポート

YOKOI Report

奈良市議会議員の横井雄一でございます。
「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる
政治家として活動してまいります。



15年目活動中です！

奈良市議会議員 **横井雄一** 議会レポート vol. **30**

令和6年5月1日 発行/横井雄一事務所
〒630-8301 奈良市高畑町51-10
TEL 090-1598-4519 FAX 0742-23-0860

みなさんの声を議会で質問しました

① 総合福祉センターをなくさないで!

令和5年12月議会

経緯

令和5年10月、市から、「奈良市総合福祉センターを7年3月末で閉鎖し、閉鎖後は、市内に4カ所ある老人福祉センターに機能を分散させて地域密着型に移行する」との考えが示された。このため、障害者団体からは存続を求める声が大きくなり、市に対し、陳情書や請願書が出される事態となっていた…。

横井の行動・考え方の整頓

- ・まず、利用者の声を聴くべきと考え、いつも交流している奈良市聴覚障害者協会のみなさんと直接対話し、「センターの存在はとても大きい」との生の声を把握しました。
- ・障害者施設と老人福祉施設とは利用者の質が違い過ぎるため、同居するのは難しいと考えました。
- ・障害者福祉サービスの専門家が集結するセンターはどこかに必要と考えました。

横井の質問

- ①聴覚障害者にとっては慣れ親しんだ生きる場所である。その気持ちがわからないのか。
- ②障害者施設と老人福祉施設とは親和性は低いと考えるが見解は。
- ③別の場所に新しいセンターを設けて、専門性の高いスタッフを改めて集結するべきと考えるが見解は。

仲川市長の答え

- ①聴覚障害者にとって「かけがえのない場所」であることが分かった。
- ②多様な利用者を受け入れる専門性が高いスタッフが必要で、高齢者も障害者も安心して過ごせる場所にしなければならない。
- ③施設の在り方を検討するとともに、専門性の高いスタッフの確保に努める。

さらに意見

- ・現在のセンターは昭和59年の建物で老朽化は激しい。新たな施設は必要。
- ・4カ所ある老人福祉センターの一つを大改装して、新たなセンター機能を持たせるのもひとつのやり方。
- ・閉鎖は思いとどまってほしい!

その後

本年2月29日、仲川市長は、私たちの意をくんで、「閉鎖を撤回する」と発表されました!

② 市民が行きたいと思える図書館へ!

令和5年12月議会

経緯

市立図書館は3館あり、蔵書数は約60万冊ある。奈良市民一人当たりの図書予算は年間117円で奈良県内最低クラスである。インターネットによる本の予約や他館からの取り寄せができ、読みたい本が手に入りやすくなったと良い評判もあるが、「本の中身が古い」、「市民の声が届きにくい」という声もあった…。



横井の質問

次の4点を指摘し、教育部長に見解を求めました。

- ①本の中身が古い!
- ②読みにくい本がたくさんある!(特に文庫本。古いものは文字が小さい)
- ③本にかける予算をもっと増やす!
- ④市民の声が届きにくい!(図書館独自の、意見を受け入れるしくみがない)

教育部長の答え

- ①蔵書60万冊のうち、刊行から10年以上を経過した本が77%占めている。廃棄基準を改めるなどして新しい本が並ぶようにしていく。
- ②人気のあるものは、文字が大きい再販のものに買い替えていきたい。
- ③予算確保に努める。
- ④図書館運営の参考となるよう「気軽に」意見をうかがえる工夫をしたい。

さらに要望

市民一人あたりの図書予算が、県内一番になるよう予算を確保してほしい!

その後

- ➔ 6年度予算で、図書購入費2,119万円を確保でき、前年より98万円増となりました!
- ➔ また、利用者が気軽に意見を伝えることができる『ちょっと聞いてやBOX』が新設されました!

③ 飛鳥バンビーホーム、早く修繕して!

令和5年11月観光文教委員会

経緯

令和2年3月、要望に応え、新ルームを増築いただいた。一方、旧ルームは平成13年にできたもので、修繕が必要なところが散見される。床面の傷みが激しいことと、畳面の沈下によりフローリング部分との境目に段差が発生し、危ない状態になっていた。



横井の質問

床面が危ない。いつ修繕してくれるのか。

教育委員会の答え

部分的な修繕は年度内の予算で修繕するが、大規模なものは翌年度の予算で確保でき次第対応する。

さらに要望

あわせて、新ホームと旧ホームの間の土部分は雨の時激しくぬかるんで通行できない。早急に対応してほしい!

その後

6年度予算で、床面の改修費600万円を確保することができました。今年の10月頃に改修工事が行われる予定です。

④ 椿井バンビーホームがせまい!

令和5年11月観光文教委員会

経緯

平成29年度、全面新築いただいた。ただ、この数年間で、利用児童が急増し、児童一人あたりの保育スペースは国の基準(*)を大きく下回っている。10月、現地を視察したところ想像以上に狭いと感じた。解決方法はスペースを増やすしかない…。



横井の質問

保育スペースを増やしてくれるのか。

教育委員会の答え

予算を確保でき次第、増築、増床していく。

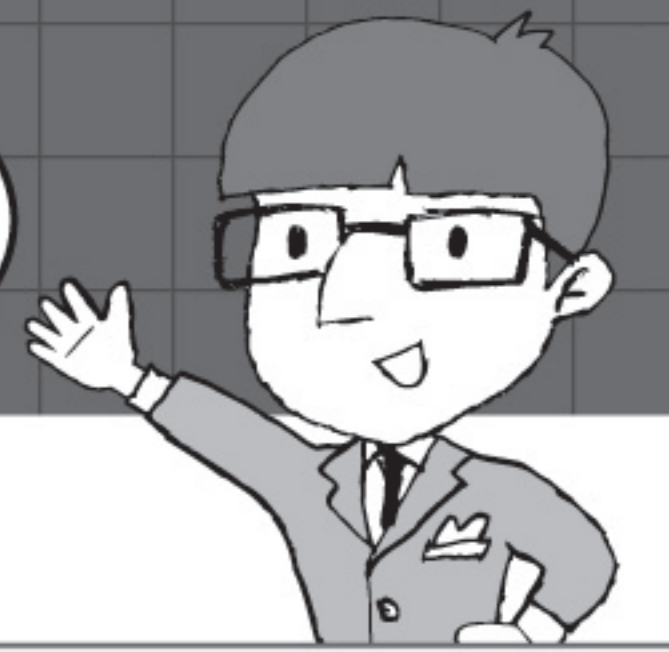
※児童に必要な床面積は、国の基準が1.65㎡/人。しかし、椿井バンビーホームは1.33㎡/人と大きく下回る。

さらに要望

椿井バンビーホームは現状の建物を増床することは難しい。別棟で増築することを念頭に予算確保を図ってほしい!

その後

6年度予算で、事業費1億4000万円を確保することができ、増築が決まりました!



5 自治会の消防ホース購入を補助して!

令和6年3月議会

経緯

下御門町自治会では、町内のお店や住居を火災から守るため、自前で消火栓を2栓(口径40mm)と消防ホースを備えられている。尊い活動である。ホースは定期的に取り換えが必要であるが、かなり高価である。。



横井の質問

消防ホース購入の際、市が費用の一部を補助する制度を検討してはどうか。

危機管理監の答え

今のところ、地域の自主防災防犯組織活動交付金を活用いただきたいと考えている。今後、全市的なニーズを確認したうえで、新たな補助制度を検討する。

特集

奈良大学で講義!

奈良市議会と連携協定(※)を結んでいる奈良大学で、「奈良市議会の役割について」、総合社会学を学ぶ学生約40人に講義いたしました。私の来し方、地方自治を取り巻く法改正、地方議会の役割から、奈良市議会の仕事内容に至るまで、約80分間、お話しすることができました。

※連携協定：令和4年12月、奈良市議会と奈良大学は、市議会の政策形成及び調査・研究に関することや、大学の人材育成及び教育・研究に関する事で相互に協力し、地域社会の発展及び人材育成に貢献することを目的に、「奈良市議会と奈良大学との包括連携協力に関する協定」を締結しています。



奈良大学で講義をする横井

姉妹都市・サマルカンド市(ウズベキスタン)を訪問!

令和5年10月17日から20日、ウズベキスタン共和国のサマルカンド市及び首都タシケント市を訪問しました。今回は北議長代理として、仲川市長、九里副議長に同行しました。令和4年に姉妹都市締結しており、今回の訪問は互いの交流を深める具体的な行動について仕かけをすることができました。

【今回の訪問目的】

1. 世界からの観光客誘致をアピール
 - ・ 国連世界観光機関(UNWTO)会議の総会に出席し、奈良市への観光訪問をアピール(市長によるスピーチ)
2. ウズベキスタンの人材を受け入れるための仕掛け
 - ・ サマルカンド市民が奈良市で就労できる素地づくり
3. 文化芸術交流を進める仕掛け
 - ・ 2025年に、ウズベキスタンの文化財、文化資料を奈良市で展覧会を開催
 - ・ 2025年に、ウズベキスタンのサボイ劇場(旧ソ連4大劇場の一つ)でJNO(ジャパンナショナルオーケストラ)のコンサートを開催

3日間の滞在で、アジス観光大臣、サマルカンド市長、内閣府文化芸術発展基金理事長、国立歴史博物館館長、ナボイ劇場館長、サマルカンド考古学研究所長らと協議することができ、充実した訪問になりました。



サマルカンド市長と九里副議長と横井

議会での役職【昨年引き継ぎ務めています】

- 議会運営委員会 委員長 (令和5年6月から1年間) 議長・副議長を補佐し、議会の運営全般を担います。
- 予算決算委員会 副委員長 (令和5年6月から1年間) 9月議会の決算案件、3月議会の予算案件の審議を統括します。
- 観光文教委員会 委員 (令和5年6月から1年間) 経済、観光、農業、教育全般を所管します。

取組みの成果が出てきました!

きこえの教室(難聴支援学級)の教員を2人確保できました!

奈良県教育委員会が必要性をみとめました!この一年間の議会質問、要望活動の成果が出たと考えます。

椿井小学校「きこえの教室(難聴支援学級)」の児童数が6年度は6人になることから、配置教員は、国の方針(児童8人に1人配置)に従って、2人→1人に減らされてしまうところでした。

児童数は2年生から5年生まで4学年にわたる6人。教員1人で、4学年にわたる学習はとても困難なところでした。保護者、歴代の保護者、地域のみなさん、学校、奈良市教育委員会が総出で、奈良県教育委員会に対し要望活動をしていました。また、椿井地区自治連合会では署名運動も展開していただきました。難聴支援学級に通う児童の学習機会を確保することができたと考えます。

ご協力くださった皆様、有り難うございました!

手話言語の国際デーに際して手話をPRする事業を実施したい!

毎年9月23日は「手話言語の国際デー」(*)ですが、奈良市ではまだそれをアピールする事業がありません。

奈良市でもブルーライトアップ事業等を実施したいと考え、奈良市聴覚障害者協会や奈良市障がい福祉課と協議してまいりました。12月議会の質問で、「市は手話言語啓発のため支援するべきだ」と訴えました。

その結果、6年度の予算に、事業補助金80万円を確保することができました。

※手話言語の国際デー:「手話言語が音声言語と対等であり、ろう者の人権が完全に保障されるよう、国連加盟国が全体でその意識を高める手段を講じよう」と、2017年12月に国連総会で決議されました。9月23日は、1951年に世界ろう連盟が設立された日にちなんでいます。

大和西大寺駅北口・南口駅前広場にベンチを設置することができました!



ベンチが整備された大和西大寺駅の駅前広場

駅前広場はきれいに整備されていましたが、ベンチがありませんでした。

会派全員で要望活動を行い、令和5年9月議会では代表質問で取り上げ、必要性を訴えておりました。その結果、今年1月18日、北口駅前広場に7基のベンチが、3月22日には南口駅前広場に3基のベンチが設置されました!

ポイ捨て禁止の啓発看板(多言語版)の普及を!

観光のお客さんが増える一方、残念ながらポイ捨てゴミも増えていきます。ポイ捨てをとどまっていたりするための啓発看板を設置するよう、環境政策課と協議しています。

その結果、6年度予算に、看板製作費20万円を確保できました!

よこいくんの取り組み

鴻ノ池運動公園(ロートフィールド)の並木道が危ない!

鴻ノ池運動公園の並木道(法蓮呉竹町)は一見キレイに見えますが、並木の根が歩道を地下から押し上げ亀裂が入り、歩道とは言えない状態になっていました。ご近所の住民がつかずかれて大ケガをされたこともありました。並木の存廃も含め抜本的な改善を求め、複数の部局と協議をしていました。

→ 6年度予算に、歩道整備費1000万円を確保することができました!



一見、整った並木道



根が地面を押し上げている危ない歩道

国と奈良市とをつなぐ!

国からの予算要望のため、昨年11月、財務省および国土交通省を訪問しました。仲川市長、小林茂樹衆議院議員はじめ市議有志とともに、佐藤啓・財務大臣政務官、石橋林太郎・国土交通大臣政務官、国交省 丹羽道路局長、天河都市局長等に面談することができました。京奈和自動車道の整備促進をはじめ、近鉄高の原駅前広場の再整備、老朽化が激しい橋梁の整備等への予算要望を致しました。



佐藤啓 財務大臣政務官(当時)へ要望



国土交通省へ要望

みなさんのところへ、出かけて行きます!

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



よこいくん

まずは、お電話ください!

横井雄一の電話番号

いごくわ よこいくん

090-1598-4519まで

よこいゆういち 検索

横井雄一オフィシャルホームページ <http://www.yokoi-y.com/> 横井雄一メールアドレス yokoi-y@kcn.jp

よこいくんのつぶやき [yokoiyuichi](#) (横井雄一) on twitter



抗菌 プラス におわなインキ®
SIAA登録商品 インキ臭を抑えた印刷です